

平成29年12月21日(木)

老球の細道379号

「12月21日」はバスケットボール誕生日  
会津バスケットボール協会 室井 富仁

12月21日はバスケットボールの誕生日である。今年で生誕126年を迎えた。体育の授業を真面目にやらない不平不満の学生たちが興味を持って熱中する授業教材を開発するためにカナダ人ジェームス・ネイスミスが考案した。当時の米国スプリングフィールド「YMCA国際トレーニングスクール」に悪ガキ達がいなかったら、今ここにバスケットボールというスポーツはない。そして私の人生もどうなったかわからない。

最近是指導者講習会等で「バスケットボールの歴史」を講義する時に必ず言うことがある。それは「バスケットボール関係者は12月21日にケーキを食べ、残ったケーキを12月24日、25日に食べてほしい」。キリスト教関係者はもちろんこの限りではない。

アメリカで生まれたバスケットボールなので五輪をはじめあらゆる国際大会でアメリカは世界NO1になることを宿命づけられている。1936年の第11回ベルリン五輪でバスケットボールが国際スポーツになってからアメリカ代表チームが世界NO1になれなかったのはほんの数えるほどしかない。

先日東京で「全国バスケットボールコーチクリニック」が開催された。アメリカジュニアナショナルチームのヘッドコーチ経験を持つドナルド・ショーター氏を講師に招いた。氏は代表のコーチになってから55勝0敗という驚異的な実績を誇る。このクリニックに坂下ミニ、中学コーチの二瓶さんと強化委員長の星先生が参加した。アメリカ代表チームに与えるショーター氏の資料をいただいたので室井訳で紹介したい。

【ナショナルチーム・ゴールドスタンダード(代表選手心得)】

- 1・NO EXCUSES (言い訳しない):「私たちは勝利を得るために練習する」
- 2・GREAT DEFENSE (ディフェンス):「金メダルを得るためのキーである」  
「地味で泥臭い仕事をする」
- 3・COMMUNICATION (コミュニケーション):「お互いの眼を見て話す」
- 4・TRUST (信頼):「チームメートを信頼する」
- 5・COLLECTIVE RESPONSIBILITY (責任分担):「皆で勝つ」
- 6・CARE (気配り)「チームメイトに救いの手を与える」
- 7・RESPECT (尊敬、敬愛):「我々は味方と対戦相手を尊敬する」「常在戦場」
- 8・INTELLIGENCE (知性):「グッドシュート」「スカウティングレポート熟知」
- 9・POISE (平常心):「弱点をを見せない」
- 10・FLEXIBILITY (柔軟性):「色々なシチュエーションに適合させる」
- 11・UNSELFISHNESS (無私):「パスを回す」「プレイタイムに価値はない」「結束力がある」
- 12・AGGRESSIVENESS (積極性):「あらゆるポジションでプレイハード」
- 13・ENTHUSIASM (熱中、熱狂):「楽しもう」
- 14・PERFORMANCE (パフォーマンス、実力):「我々は常に満足しない」  
「悪い練習は絶対しない」
- 15・PRIDE (プライド、誇り):「我々は世界NO1。最高の国の代表である」